

令和6年度 指定管理者年度総合評価表

(令和6年4月～令和7年3月実施分)

作成日	令和7年6月6日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市多賀多目的運動場	
所在地	八戸市大字市川町市川後55-1	
施設概要	設置目的：震災の津波による住居被害が市内で最も大きかった多賀地区の活力を創出するとともに、最大クラスの津波から被災を免れることを目的として建設された。 構造：鉄筋コンクリート構造 主要施設：管理棟兼津波避難施設、天然芝球技場、人工芝球技場、常設駐車場、多目的広場	
指定管理者	名称	八戸スポーツ・地域振興グループ
	代表者	株式会社ヴァンラーレ八戸 代表取締役 細越 健太郎
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字市野沢35番地
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	施設使用許可、施設設備の維持管理、その他	
市所管課 (問合せ先)	観光文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ	
	電話	0178-43-9159 (直通)
	e-mail	sportsshinkou@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	今年度は施設利用件数が2,314件、前年実績2,399件に対して85件減少したもの、年間の施設利用者数は117,890人と前年度実績115,987人から増加となった。件数減は少子化に伴うクラブ数の合併減少によるものの、サッカー競技人口は増加傾向であり、当施設の認知度が高くなってくると実感している。また構成グループのNP0法人八戸市サッカー協会と年間グランド使用スケジュール調整の連携をとり、様々な大会等設定したことが利用者増加につながっている。 収支では利用料収入26,194千円と前年度から1,201千円の増、興行施設利用料が増えたことにより売上の増加につながった。原油価格高騰や物価上昇により消耗品費・燃料費が増加となったが、人件費等の減少により、11,134千円の黒字となった。 施設管理維持については、日常的な見回りにより、汚水ポンプの異常や一階中央入口付近通路雨漏り、その他軽微な破損の発見につながっており、その中で軽微な破損は当スタッフにおいて修繕を行ったことで収支利益に貢献した。
今後の目標	物価上昇の厳しい状況にも関わらず利用者様の利便性を第一に考え、増収増益を目指し経費削減に努め、強風や浜風塩害でのシビアコンディションで使用している建物・設備の維持管理に一層努める。

■市（所管課）の総合評価

評価	構成グループのNP0法人八戸市サッカー協会と連携し、様々な大会等設定したことで、施設利用者が増加し、施設利用者数は前年比約1.6%増となった。 また、エネルギー価格等が高騰し、維持管理経費が増大する中で、人件費やその他経費などのコスト削減に取り組み、支出を抑えたことで黒字を確保している。 一般利用に供する人工芝球技場については、規則上は休場となる冬季期間も、維持管理に支障のない限り貸出しを行い、より多くの利用機会を提供したほか、スポーツ施設としてだけでなく、地域のコミュニティスペースや一時避難施設として、地域との積極的交流を図りながら良好な関係を築いた。
指摘事項	特になし

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、－評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	規則で定める休場日は毎週月曜日だが、事業計画どおり、第二・第四月曜日の午後のみ休場することで、より少ない休場日で運営し、多くの利用機会を提供した。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	△	人員が若干少なく配置されていた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	地元自治会と連携し、津波一時避難施設としての避難場所・避難経路の周知を図るなど、協働のまちづくりへ貢献した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	－	条例に基づく料金設定のため、該当なし。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	－	事例なし
指定管理開始前における準備	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	－	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	施設利用実績は施設全体で117,890人となっており、令和5年度実績(115,987人)と比較して約1.6%増となった。 【実績】 令和5年度 利用者数：115,987人 利用料金：24,993,556円 令和6年度 利用者数：117,890人 利用料金：26,194,973円
自主事業	○	飲料等の自動販売機を設置し、利用者の利便性向上を図り、利用者の増加に寄与した。 また、グラウンドゴルフ大会を開催し、市民がスポーツに取り組む機会を創出した。
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	事業計画のとおり、利用者のニーズに応じて、基本的には休場とする12月～3月もできる限り人工芝球技場を貸し出し、利用促進に努めた。(12月～3月までの人工芝利用者 13,772人)

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="7">収入 ①</td><td>利 用 料 金</td><td>24,000,000</td><td>26,194,973</td><td>24,993,556</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>62,000,000</td><td>62,000,000</td><td>59,523,000</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>0</td><td>441,000</td></tr><tr><td>東北電力節電達成特典金</td><td>0</td><td>5,256</td><td>47,621</td></tr><tr><td>雑 収 入</td><td>0</td><td>14,245</td><td>217</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>86,000,000</td><td>88,214,474</td><td>85,005,394</td></tr><tr><td rowspan="4">支出 ②</td><td>人 件 費</td><td>26,617,000</td><td>19,126,100</td><td>21,400,667</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>56,700,000</td><td>55,301,778</td><td>52,440,097</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>2,683,000</td><td>2,652,707</td><td>2,791,164</td></tr><tr><td>計</td><td>86,000,000</td><td>77,080,585</td><td>76,631,928</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="2">収入-支出(①-②-③)</td><td>0</td><td>11,133,889</td><td>8,373,466</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	利 用 料 金	24,000,000	26,194,973	24,993,556	指 定 管 理 料	62,000,000	62,000,000	59,523,000	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	0	441,000	東北電力節電達成特典金	0	5,256	47,621	雑 収 入	0	14,245	217	修繕料繰越金	0	0	0	計	86,000,000	88,214,474	85,005,394	支出 ②	人 件 費	26,617,000	19,126,100	21,400,667	維持管理経費	56,700,000	55,301,778	52,440,097	事業費・一般事務費	2,683,000	2,652,707	2,791,164	計	86,000,000	77,080,585	76,631,928	次年度修繕料繰越金③		0	0	0	収入-支出(①-②-③)		0	11,133,889	8,373,466
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																									
		収入 ①	利 用 料 金	24,000,000	26,194,973	24,993,556																																																									
			指 定 管 理 料	62,000,000	62,000,000	59,523,000																																																									
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	0	441,000																																																									
			東北電力節電達成特典金	0	5,256	47,621																																																									
			雑 収 入	0	14,245	217																																																									
			修繕料繰越金	0	0	0																																																									
			計	86,000,000	88,214,474	85,005,394																																																									
		支出 ②	人 件 費	26,617,000	19,126,100	21,400,667																																																									
			維持管理経費	56,700,000	55,301,778	52,440,097																																																									
			事業費・一般事務費	2,683,000	2,652,707	2,791,164																																																									
			計	86,000,000	77,080,585	76,631,928																																																									
		次年度修繕料繰越金③		0	0	0																																																									
		収入-支出(①-②-③)		0	11,133,889	8,373,466																																																									
自主事業の収支状況	○	収支状況は適正であった。 収入 1,854,055円 (内訳) ・ 自動販売機設置事業収入 1,333,155円 ・ グラウンドゴルフ大会収入 520,900円 支出 886,097円 (内訳) ・ 自動販売機設置使用料 398,520円 ・ グラウンドゴルフ大会支出 487,577円																																																													

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ホームページ、SNS、パンフレットにより、積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情処理簿を準備し、利用者から苦情があった場合に記入するように体制が整っていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規定が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規定が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	施設が比較的新しいため、バリアフリー化や車いす専用の観覧スペースが設けられているほか、障がい者に配慮した声掛けや誘導を行える体制ができていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前、適宜施設・設備を目視点検し、設備の不具合発見に努めた。 ・毎日、適宜施設の見回りを行い、ゴミを拾って環境美化活動に努めた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	毎月の月例報告、年1回の事業実績及び年間事業計画が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	約10回	随時	担当	施設管理状況等について確認
		2月19日	担当 副担当	施設利用申込書、領収書、収入・支出事務に係る書類の突合、日常業務日誌、施設・設備点検記録簿、委託契約書等を確認。
	実施結果			
	施設や設備、備品等の管理が適正に行われていることを確認した。			